

優しく強い子に！



http://www.minamih.net/
19・7・8(月)
南NEWS no 38

残念！JA 2次リーグ 3戦全敗！！ でも2勝はできたよ！！

試合前に、谷口コーチの1次リーグのレポートが載っているNEWSを読みながら

- ① 5つ観て良い判断・選択をしてアイデアを実行する、伝え合う。
- ② 気持ちで負けず走り負けなければ勝てる。
- ③ 北斗七星で数的優位を保って、相手陣内でハイプレス(相手陣内で試合を進める)。
- ④ 逆襲に備えてつるべをしっかりと徹底する。ボールとは逆サイドのMFは相手MFをマークする。
- ⑤ 渡り廊下を使って攻める。
- ⑥ 取られたら3秒以内に取り返す：飛びかかるようにして取り返す(ゲーゲンプレッシング)、スペースバック:アーリーヒットで取り返す。
- ⑦ キックオフの時に自分のマークの相手を確認し、その相手にはプレーをさせない。負けない。

の7つの話をしました。

初戦リトルウイング戦は、前半立ち上がり、相手ペナの中に攻め込み、トップ下カイト君がファールを受けてPKを得て、カイト君が右上に見事に決めて先制。

しかし、まもなく南右ディフェンシブサードで相手左MFをフリーにして、同点ゴールを奪われました。④、⑥、⑦ができていれば防げた失点です。

その後、逆転のシュートを決められ1-2とリードを許しますが、ミドルサード中央でボールを受けたカイト君が2人かわしてドリブルシュート！右足の低い弾道の強烈なシュートはゴール右に吸い込まれました。

後半、左サイドのマークが甘くなったところをつかれて3失点目。敗戦となりました。勝てた試合でした。

2試合目は、この日3戦全勝でベスト4に残ったカラズに9-0。シュート0の完敗。私が話した7つ全てができなかった試合でした。

3試合目は、清水北戦。試合開始直後に1試合目と同じパターンで、ボールと逆サイドの相手左MFをドフリーにして、パスが繋がって失点。立て続けに同じパターンで2失点でした。

後半、相手ペナの中にドリブルで切れ込んだトップのカイト君が左足で1点を返し、その後、ミドルサード中央からカイト君が見事な左足のロングシュートを決めて2点目をゲットしました。

後半終了間際に右サイドをドリブル突破されて誰もチャレンジせず、5点目を許して、2-5で敗戦となりました。敗戦の主たる原因は1試合目と同じでした。④、⑥、⑦ができていれば勝てた試合でした。

できたこと

- ① 自分の相手とフィジカルで戦えるようになった。
- ② ドリブルの技を使って突破試みる。シュートをする。



- ③ 渡り廊下を使って攻める。

※マサヤ君のGKーシン君のCBーアイル君のトップ下カイト君のトップの縦の軸が、樹木で言えば太い幹が3試合をする中で確立しました。良く戦えるようになりました。元々持っている力でした。

あとは両サイドバック、両サイドハーフを含めて、みんなが7つのことを良く理解して試合で徹底できればいつも勝てるチームになります。

課題

7つのこと全てが課題ですが、更に言えば

- ① ドリブル・ターンの技をそれぞれが磨くこと。午後練に来られない人も毎日ボールに触って個人技のレベルを上げる。
- ② 渡り廊下の攻めを徹底する。
- ③ 3試合を通じてワンツーパスが1回だけ。パス&ムーブができるチームへ。ボールを持った味方からくさびを受ける態勢を取れる子が0。従ってドリブルから前の子にくさびを当ててワンツーパスから得点を狙うことも0。これもできるチームになりたい。アイル君のトップ下とトップのカイト君ならできます。レオン君も左サイドのドリブルからカイト君にくさびを当ててパス&ムーブからの得点を狙ってほしい。セナ君も。
- ④ 相手DFの間を通してDFとGKの間に出すスルーパスが0。この日の1試合目、八王子のカップ戦で優勝した鑑水はこのスルーパスを何度も通し、得点を重ねていました。対戦したカラズもそうでした。
- ⑤ 浮き球をしっかりとヘディングではね返す。
- ⑥ 少しできるようになりましたがコーナーキックの守り方の徹底。
- ⑦ 前日のJ1、鹿島vsジュピロ磐田戦。解説の山本氏(アテネオリンピックの男子監督)矢上のお師匠さんがこう言っていました。「ジュピロは守りでスプリントして、鹿島は攻めでスプリントしている。その差が試合に出ている」攻めで、点を取るために相手陣内でスプリントを徹底しよう！！パス&ムーブ！オーバーラップ！インナーラップで！！

※課題をいくつか挙げて、話す人の目を見て、目と心と耳で話を聴くこと、そして、しっかり理解することができないと成長は望めません。

この日も指導している、話をしているコーチの目をしっかり見て話を聴くことができない子がいました。そのポジションで果たさなくてはいけない役割を理解できず、同じミスを繰り返してしまいました。次はやってくれると思います。

この日の試合の合間に子どもたちに話しました。

「君たちの親以外に、君たちのために土日や休みをつぶして何かをしてくれる大人がいるかな？谷口コーチや加藤コーチのような人がいるかな？」

これだけのたくさんのお母さんたちが、雨風の中、君たちのために応援してくれているんだよ。感謝しなければいけないよね。有難うの気持ちがあればもっとGAMBAれるはずだよ！！」

温かいコーンスープ有難うございました。

帰りの車の中で谷口コーチ・加藤コーチにお話しました。

「JFANEWSの今月号に、入部間もない子で上手くない子も全員試合に出すチームが結局は勝つようになるという文章が載っていました。

上手い子だけ出すチームがシーズンの前半は勝っているけど、上手くない子でも全員を試合に出すチームがだんだん勝つようになってくるそうです。

試合に出ることによって上手くなかった子のレベルが上がり、チーム内に切磋琢磨・競争が生まれて、チーム全体のレベルが上がって勝てるようになるということでした。

今日の3試合。全員出すことで、いつも先発で出ない子どもたちが3試合目にはかなり良く戦えるようになってきましたね。JFANEWSに載っていたことを実感しました」

肝に銘じたいことです！！

最後になりましたが、この日の2次リーグに審判団として中西コーチ・中村龍平コーチが帯同してくださいました。有難うございました。お疲れ様です。感謝・感謝です！



